

東京湾海況情報 22-05

東京湾水質調査結果（平成22年8月分）

平成22年8月11日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査（内湾：8/3 わかふさ、内房：8/2 ふさみ丸）
関東・東海海況速報

水温・塩分の状況(図1～2、表1)

表層水温は全域で平年より1～3℃高く、内湾は27～29℃、内房は24～27℃でした。

表層塩分は、河川からの出水と南風の連吹の影響を受けてアクアライン北側から湾奥にかけて28以下と低い状態でしたが、内湾南部から内房北部は29～31、湾口部は32～33とほぼ平年並みでした。内湾の成層状態は、依然として継続していました。

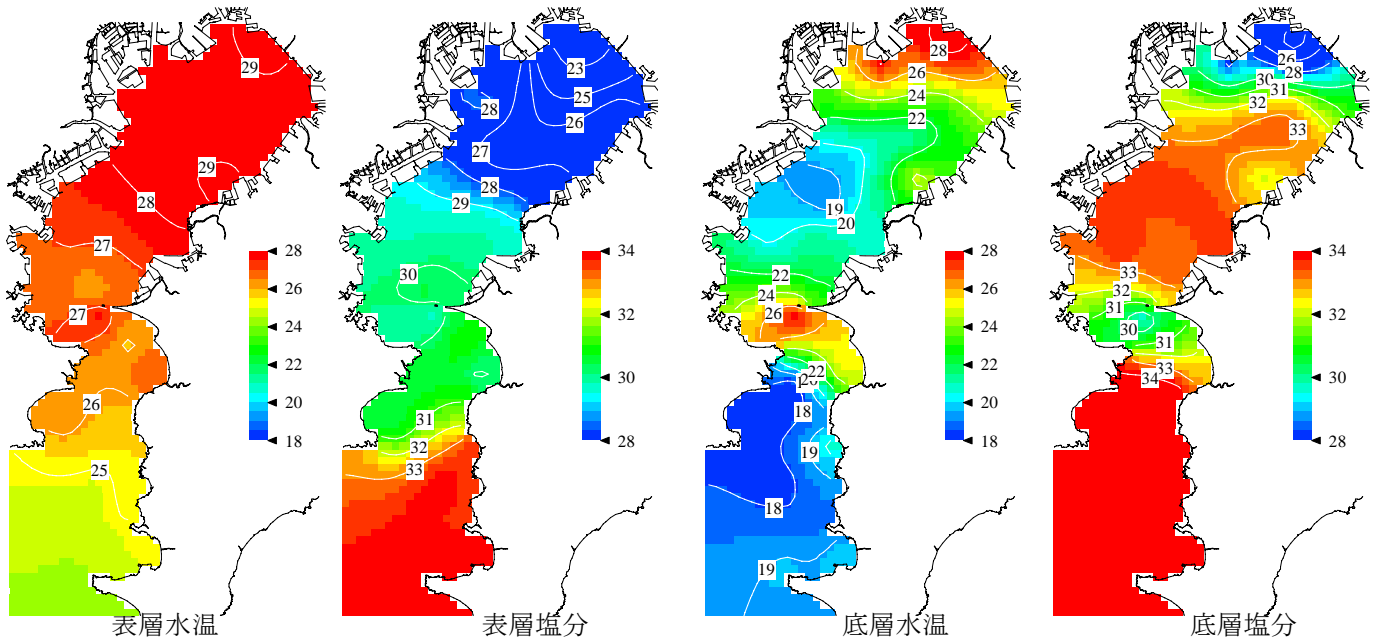


図1 水温と塩分の水平分布

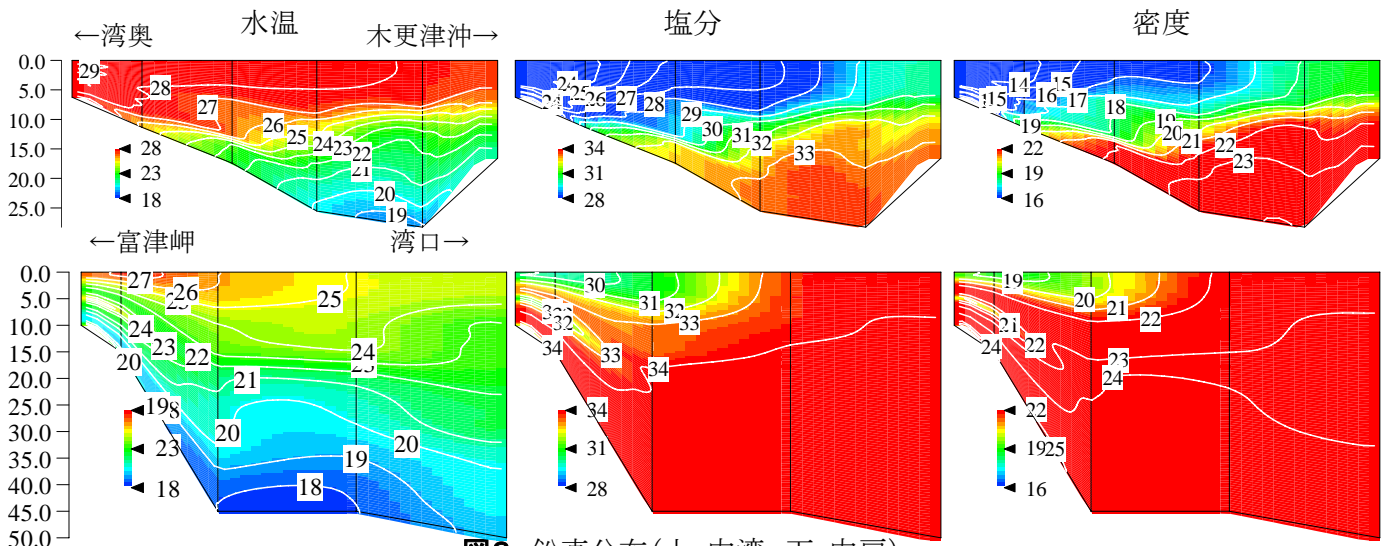


図2 鉛直分布(上:内湾, 下:内房)

赤潮の状況(図3、表1)

赤潮はほぼ内湾全域で発生しており、湾奥部では pH8.7以上、透明度1.5m以下を示し、水色が茶褐色を呈するほど濃い赤潮状態でした。

優占種は海域によって異なり、内湾北部は珪藻のスケルトネマ(*Skeletonema costatum*)が最優占で、次いで渦鞭毛藻のプロロセントラム(*Prorocentrum dentatum*)と原生動物のメソディニウム(*Mesodinium rubrum*)が優占していました。

内湾中央部から内房北部海域では珪藻のシュードニッチア(*Pseudo-nitzschia* sp.)とユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)が優占していました。

保田から富浦にかけての周辺海域は、珪藻のシュードニッチア(*Pseudo-nitzschia* sp.)が優占していました。

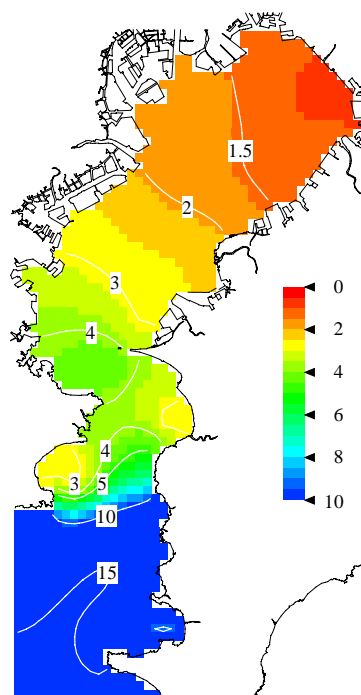


図3 透明度の分布(m)

貧酸素水塊の状況(図4、表1)

貧酸素水塊は、内湾北部沖合を中心に広範囲に分布していました。また、南寄りの風が連続している影響で、盤洲周辺に接近していることから、注意が必要です。

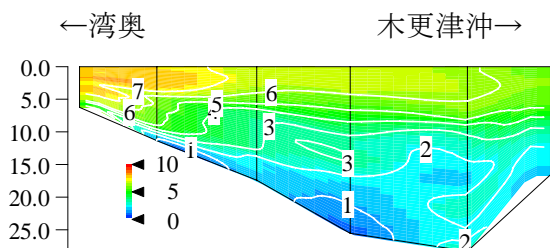
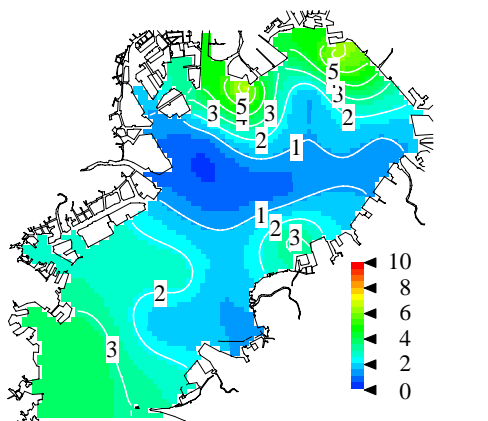


図4 内湾のDO(ml/L)

(千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています)

栄養塩類の状況(図5、表1)

栄養塩類は、DINでは、船橋周辺海域を除くほぼ全域で100 μ g/L未満、PO₄-Pでは全域で15 μ g/L未満と、全般的にかなり低い状態でした。

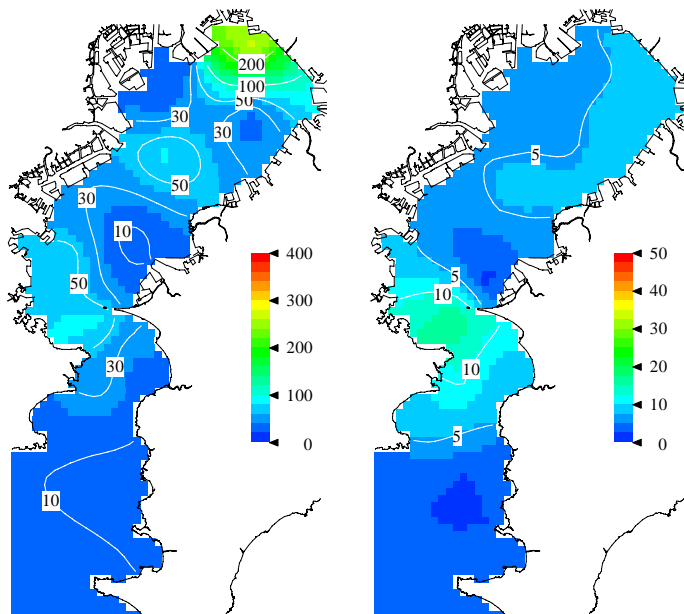


図5 表層の栄養塩類

(左:DIN, 右:PO₄-P 単位はいずれも μ g/L)

黒潮の状況(図6)

黒潮はB型流路で、野島崎から外房沿岸に接近して北東に流れており、沿岸域で流れが速くなっています。

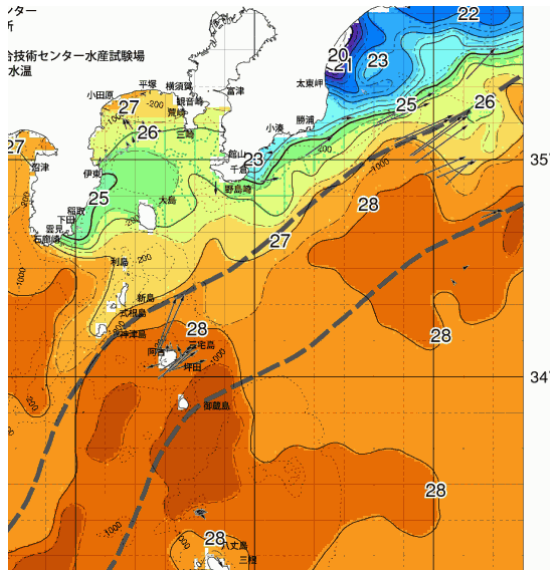
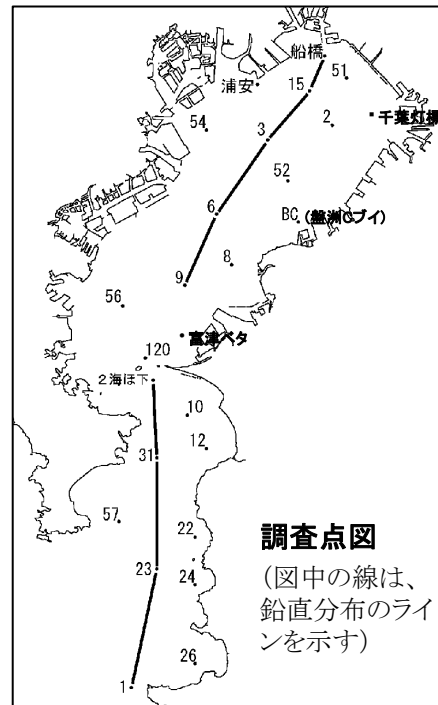


図6 黒潮の動き(8月3日)



調査点図

(図中の線は、鉛直分布のラインを示す)

表1 主な調査点の水質調査結果(調査点は、右図参照)

(調査日：平成22年8月2日、3日)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 (μg/L)	リン酸 態リン (μg/L)	アンモニア 態窒素 (μg/L)	クロロフィル a量 (μg/L)
内湾	船橋	1.1 (1.5)	29.1 (27.7)	22.29 (25.55)	8.7 (8.6)	6.1 (3.4)	261 (151)	6 (20)	34 (51)
	st.15	1.2 (1.3)	28.7 (28.0)	23.38 (25.21)	8.7 (8.8)	1.3 (2.3)	145 (134)	3 (15)	31 (36)
	st.3	1.7 (1.9)	28.5 (27.1)	26.33 (26.78)	8.6 (8.7)	1.4 (1.0)	35 (139)	4 (14)	32 (43)
	st.6	1.7 (2.1)	28.6 (27.1)	26.49 (27.35)	8.6 (8.7)	0.3 (1.1)	64 (86)	5 (10)	60 (40)
	st.9	2.8 (2.5)	27.2 (26.1)	29.64 (29.29)	8.5 (8.5)	1.3 (2.7)	8 (81)	2 (11)	7 (35)
	盤洲Cブイ	(1.9)	29.4 (26.9)	27.39 (28.83)	8.5 (8.6)	3.3 (2.9)	(85)	(11)	(30)
	st.8 (盤洲Aブイ)	2.5 (2.5)	28.0 (26.2)	29.21 (29.99)	8.6 (8.5)	1.1 (2.4)	23 (86)	5 (12)	22 (36)
	富津ベタ	3.0 (2.8)	26.7 (25.2)	30.05 (30.65)	8.4 (8.4)	2.4 (2.9)	17 (64)	0 (7)	10 (30)
外域	第2海ほ下	4.5 (4.6)	27.5 (25.6)	29.57 (30.64)	8.4 (8.3)	(64)	14 (9)	47 (28)	
	st.31	4.0 (7.6)	26.1 (25.4)	30.43 (31.56)	8.4 (8.3)	35 (50)	10 (8)	12 (35)	
	st.23	14.0 (14.9)	24.9 (25.8)	33.68 (32.65)	8.3 (8.3)	6 (34)	0 (2)	5 (29)	
	st.1	14.0 (16.7)	25.2 (25.3)	34.63 (33.51)	8.3 (8.2)	18 (32)	1 (1)	7 (29)	
	st.10 (下洲沖)	3.5 (4.8)	25.9 (25.3)	30.80 (31.23)	8.4 (8.3)	24 (46)	9 (6)	15 (25)	
	st.12 (湊沖)	3.0 (5.4)	26.9 (25.8)	29.97 (31.42)	3.0 (8.3)	20 (33)	6 (3)	15 (25)	
	st.22 (保田沖)	11.0 (12.3)	29.0 (26.1)	33.49 (33.08)	8.3 (8.3)	8 (31)	2 (5)	6 (27)	
	st.24 (富山沖)	11.0 (11.6)	25.3 (25.8)	33.63 (33.12)	8.2 (8.3)	8 (28)	1 (1)	7 (24)	
st.26 (館山湾内)	10.0 (13.9)	24.9 (25.3)	33.72 (33.39)	8.3 (8.2)	9 (28)	1 (2)	5 (22)		

(): 過去10年間の平均値

※透明度、pHとクロロフィルa量の橙色は赤潮、DOの青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。